

にし歯科だより



院長

8月には東京山種美術館で、「東山魁夷と日本の夏」という没後25年記念の企画展を鑑賞した。引く波ではなく満ち来る波の荒々しさを描いた9メートル超の大作には感動。その後新潟に行った際に日本海の波を撮った。撮ったのは夏の日の夕方の静かな美しい海であったが、次は冬の夜の荒れ狂う波立つ海を撮影してみたい。



受付 本田

友達と嬉野の花火大会に行ってきました～！出店でたくさんおいしいものを食べてきれいな花火も見られていい休日でした😊お盆明けからのお仕事も頑張ります！

佐賀市開成2丁目1-13 ☎（0952）36-9855



明治24年に完成した、金銀抽出のあいのやま 精錬施設

佐渡島(さど)の金山 ユネスコ世界文化遺産登録決定

27年にも及ぶ市民団体による活動が認められました

佐渡の金山が世界遺産に決まった夏に、私なんと初めて新潟を訪れました。私の次男が新潟の大学に行っているものですから、彼が学生のうちに一度行っておきたいとのことで、今回の旅行となりました。上の写真はプラタモリでも出てきた精錬施設で、江戸時代に小判を作っていた頃とは鉱山技術も格段に進歩して、従来は廃棄していた鉱石からも金銀抽出が可能になった明治末期から使われた三菱合資会社の施設です。ラピュタの遺跡のようだと称されるコンクリートの朽ちた表情や、つたに覆われた感じは、廃墟マニアの私にはたまらない撮影スポットでしたが、今回は日帰りツアーでしたので、滞在時間はほんの40分ほど。早朝の朝日も、夜の星空も、ぜひまた訪れたいと思っています。



トキの森公園内のトキの飼育ゲージで実際に見ることができました



越後一宮として知られる彌彦神社 奥には彌彦山山頂が控えて見事な鎮守の森が印象的です

創建から2400年以上の歴史 彌彦神社を参拝しました

境内は鬱蒼たる樹木に覆われ、亭々たる老杉。古櫓は見るからに神々しく最も古い歌集の万葉集にも歌われているような昔ながらの神奈備の森です。8月13日には新潟は台風9号一過の真夏日で、ここが冬には雪積もる新潟の地であることをすっかり忘れてしまうようでしたが、夏の暑さはサガと何も変わることがないようでした。素晴らしい由緒ある彌彦神社で御朱印もいただいて、社の裏手にあるロープウェイで彌彦山に登って、燕市から三条市までそして、日本海から佐渡島までを望みました。右の写真はいつも見慣れている額紫陽花のようでしたが、エゾアジサイという珍しい種ようで、8月でもまだ綺麗に咲いていました。



歌舞伎座 八月納涼歌舞伎 歌舞伎初めての超初心者

何もわからない超初心者ですが、ある知人からチケットをいただいて、さらに歌舞伎の鑑賞の仕方をご指南いただいて、「イヤホンガイド」も借りて、8月納涼歌舞伎題目「髪結新三」を観ることが出来ました。新三（しんざ）は髪結で調子の良い男だが、その本性は肝の座ったたちの悪い男。しかしちょっと良い男で、今回は中村勘九郎さんが演じていました。そのほかにも知っている役者さんも何人も出ていて、ガイド音声の助けもあって十分に楽しめることが出来ました。ぜひまた機会を作って観賞してみたいと思います。それから、歌舞伎座横に、なんと佐世保の老舗カレーの「蜂の家」がありましたよ。～

